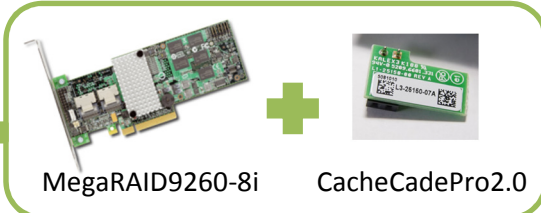
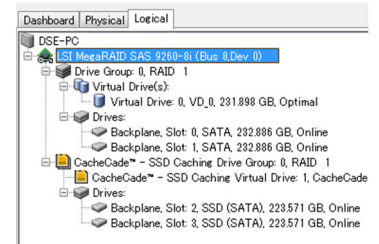


LSI MegaRAID CacheCade Pro2.0は、通常のHDDによるRAID構成に加えて、キャッシュ用のSSDを追加することでRead/WriteともにSSDをキャッシュとして使用する事が出来るソフトウェアです。キャッシュ用SSDはミラーリングすることでキャッシュ用SSDが突然壊れても1Bitも落とすことなく安全に運用が可能です。 *対象製品はMegaRAID9260/9280シリーズです。

構築例

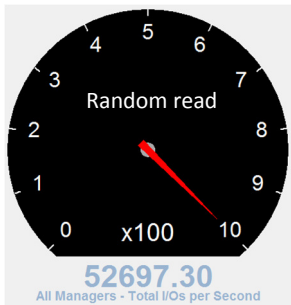
ラックマウントサーバーにRAIDカードを搭載し、2ポート分をSSDキャッシュに割り当てる事で、省スペースでも安価に大容量かつ高速なストレージを構築することが可能になります。



- 3ステップで簡単に設定可能
1. 物理キーをカードに差し込む
 2. MSMでキャッシュ用SSDを設定
Single, RAID1, RAID0の選択
 3. 対象のボリュームに割り当て
- * MSM: MegaRAIDStorageManager

ベンチマーク

IOmeterを使用したベンチマークテストでは、テスト開始から15分程度でキャッシュヒット率が高くなり30倍以上のスコアアップが見られました。



RAID0構成で約100倍！

テスト環境

MegaRAID92608i CacheCadePro2.0 HDD:Seagate7200rpm x2 SSD:OCZ Vertex3 240GB x2(mirror)

4k Random Read
スタート時: 550 IO/s
15分後: 28,700 IO/s
効果: 約53倍

4k RandomWrite
スタート時: 524 IO/s
15分後: 18,828 IO/s
効果: 約36倍

WebServerシュミレーション
スタート時: 530 IO/s
15分後: 17,947 IO/s
効果: 約33倍

4kOLTPシュミレーション
スタート時: 506 IO/s
15分後: 21,006 IO/s
効果: 約40倍

アプリケーション

CacheCadePro2.0は、データベース、Webサーバーに特化した製品です。徹底的に最適化された3世代目のSoftwareで最大SATA RAIDの12倍のパフォーマンスを実現しました。



SNSなどWebアプリケーション



ORACLE, SQLなどデータベース

